

社員食堂の利用実態や改善要望を調査**社食がある人の利用頻度は平均で週2.1日
最も期待することは「旬の食材や季節感のあるメニュー」**

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の外食市場に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメ外食総研」（<https://www.hotpepper.jp/ggs/>）は、社員食堂（以下、社食）についてのアンケートを実施しましたので、その結果を発表いたします。

【解説】

昨今の人材不足などから、企業の福利厚生が注目されているが、社員食堂（以下、社食※）の利用実態や改善要望などを調査。昼食で社食を利用できる人は22.7%で、うち半数に近い45.8%の人が、社食を使える環境にありながら「ほとんど社食を使わない」という回答だった。使いたくない理由は「味」「メニューの種類」など料理内容が上位で、使いたい理由では「安さ」「時短」などの理由が上位だった。今後の期待では料理の内容に対する選択肢が上位に来ており、特に女性で利用促進の余地が大きそうだ。従業員の満足度を高める社食運営としては、健康志向などを意識した料理の内容の充実が求められそうだ。

※社食には学食も含む（サンプル内の学生の構成比は3.0%）

【要約】**POINT1 昼食で社食が使える人は22.7%。週平均2.1日利用、
「ほとんど使わない」人が45.8% . . . P 3-5**

- 昼食で社食が使える人は22.7%。
- 昼食での社食の利用は週平均2.1日。「ほとんど使わない」人が半数に近い45.8%。
- 社食を利用しない日の昼食、最多は「コンビニエンスストアやスーパー等で購入」が47.1%。

**POINT2 社食を使いたい理由は「安さ」「外に出るのが面倒」
使いたくない理由は「おいしくない」「高い」など . . . P 6-7**

- 社食を使いたい理由、トップ3は「安い」（47.2%）、「外に出るのが面倒」（26.7%）、「短時間で済ませられる」（23.1%）。
- 社食を使いたくない理由、トップ3は「おいしくない」（22.1%）、「高い」（16.6%）、「メニューの種類が少ない」（15.0%）。

**POINT3 社食に期待することは「旬の食材や季節感のあるメニュー」
「栄養のバランスに配慮したメニュー」「ビュッフェ形式」
「サラダバー」など . . . P 8**

- 社食に期待すること、「旬の食材や季節感のあるメニュー」（26.9%）、「栄養のバランスに配慮したメニュー」（20.2%）、「ビュッフェ形式の導入」（19.6%）、「サラダバーの導入」（17.4%）など。

調査概要と回答者プロフィール

◎調査名	外食市場調査(2018年6月度)
◎調査方法	インターネットによる調査 首都圏、関西圏、東海圏における、夕方以降の外食および中食のマーケット規模を把握することを目的に実施した調査(外食マーケット基礎調査)の中で、昼食における社食の利用状況、社食を利用しない日の昼食方法、社食を利用したいと思う理由、利用したくないと思う理由、社食に期待することなどを聴取
◎調査対象	首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県)、関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県)、東海圏(愛知県、岐阜県、三重県)に住む20～69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)

■事前調査

①調査目的	本調査の協力者を募集するために実施
②調査時期	2018年5月23日(水)～2018年6月1日(金)
③調査対象	首都圏、関西圏、東海圏に住む20～69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
④調査内容	本調査への協力意向、普段の外食頻度、普段の中食頻度
⑤配信数	384,188 件
⑥回収数	38,257 件
⑦本調査対象者数	17,656 件

◆本調査対象者の割付について

- ・本調査では、回答者の偏りをできるだけなくすために、割付をおこなって回収した。
- ・性年代別10区分×地域別25区分(首都圏地域13区分、関西圏地域8区分、東海圏地域4区分)＝250セルについて、平成28年人口推計(総務省)に基づき割付をおこなった。
- ・本調査の目標回収数は、首都圏4,000s、関西圏2,000s、東海圏2,000s、合計8,000sとした。

■本調査

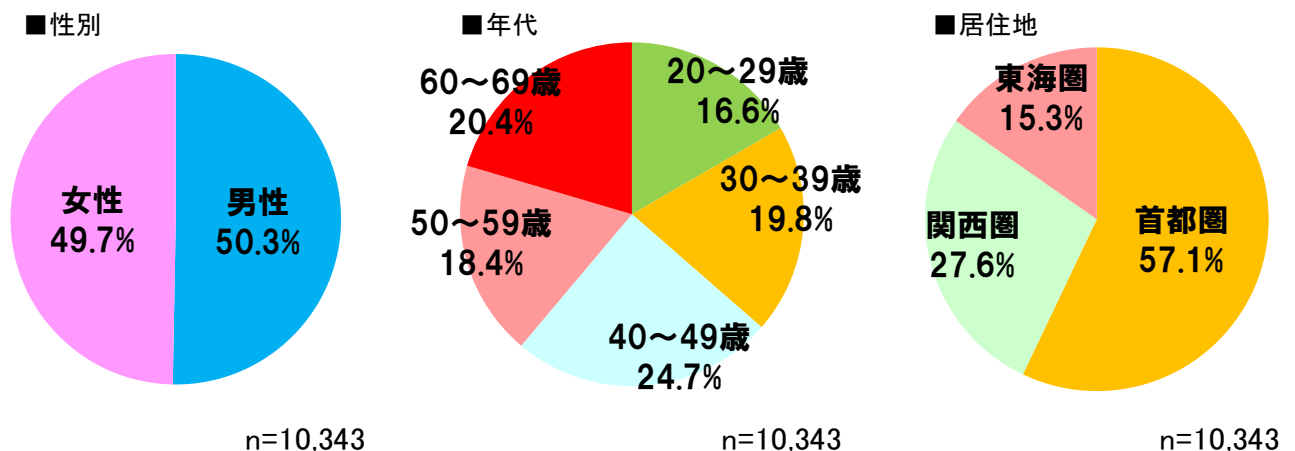
①調査方法	・事前調査で本調査への協力意向が得られたモニターの中から、脱落率を加味して設定した必要数をランダムに抽出し、本調査の案内メールを通知。
②調査期間	2018年7月2日(月)～2018年7月10日(火)
③配信数	13,256 件
④回収数	10,422 件 (回収率 78.6 %)
⑤有効回答数	10,343 件 (首都圏 5,243 件、関西圏 2,725 件、東海圏 2,375 件)

※回収された票のうち、自由回答コメントから、趣旨に合わないと思われる票を無効としたほか、事前調査時の普段の外食・中食頻度の回答と、本調査時の1カ月間の外食・中食回数が著しく乖離している場合、事前調査時の住所と、本調査時の住所が、圏域を越えて変わっている場合を無効とした。

◆集計方法について

- ・本調査結果は、平成28年人口推計(総務省)における割付(性年代別10区分×地域別25区分＝250セル)別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウェイトバック集計をおこなっている。
- ・補正後のサンプル数は次の通り。
3圏域・計 10,343 件(首都圏: 5,903 件、関西圏: 2,857 件、東海圏: 1,582 件)

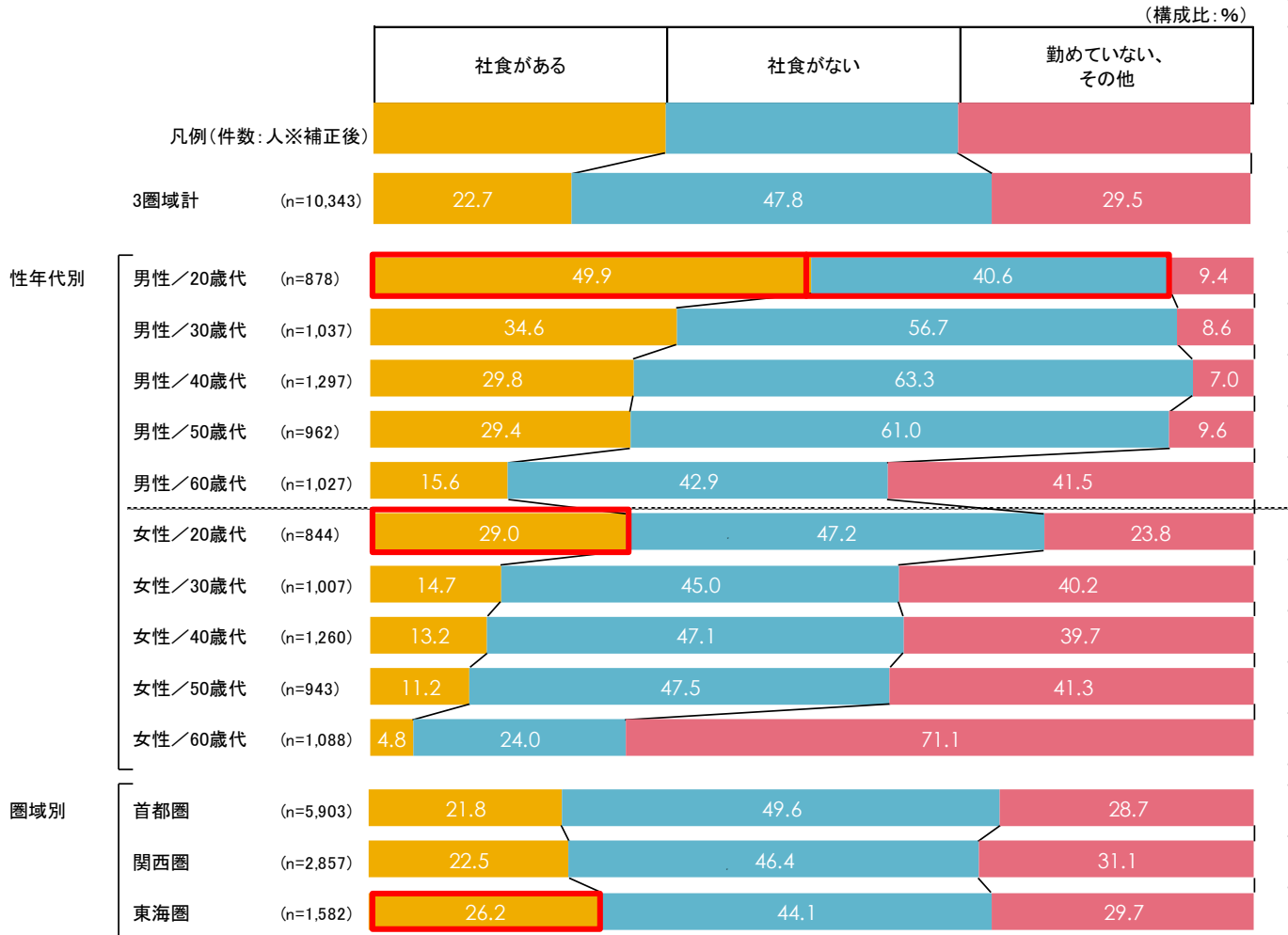
◆回答者プロフィール(ウェイトバック後)



1. 昼食で社食が使える人は22.7%

社食について、昼食で使えるかどうかを聞いた。結果、全体としては「社食がある」との回答が22.7%、「社食がない」が47.8%、「勤めていない、その他」が残りの29.5%という回答であった。性年代別では、20代で「社食がある」環境が多く、20代男性ではほぼ半数の49.9%が「社食がある」との回答、20代女性でも29.0%が「社食がある」と回答している。20代では学生の比率が他の性年代より高いことから、学食を使える人が多いことが数値を押し上げているかもしれない。逆に60代では「社食がある」人の割合は低く、これは当然ながら「勤めていない、その他」の割合が多いことが原因だ。「勤めていない、その他」を除き仕事をしている人だけに注目すると、全体では22.7：47.8の割合で、特に20代男性では49.9：40.6と、「社食がある」人が「社食がない」人を上回っている。また、圏域別では、東海圏でやや「社食がある」人の割合が高い。

■ 昼食における社食の利用状況（全体／単一回答）

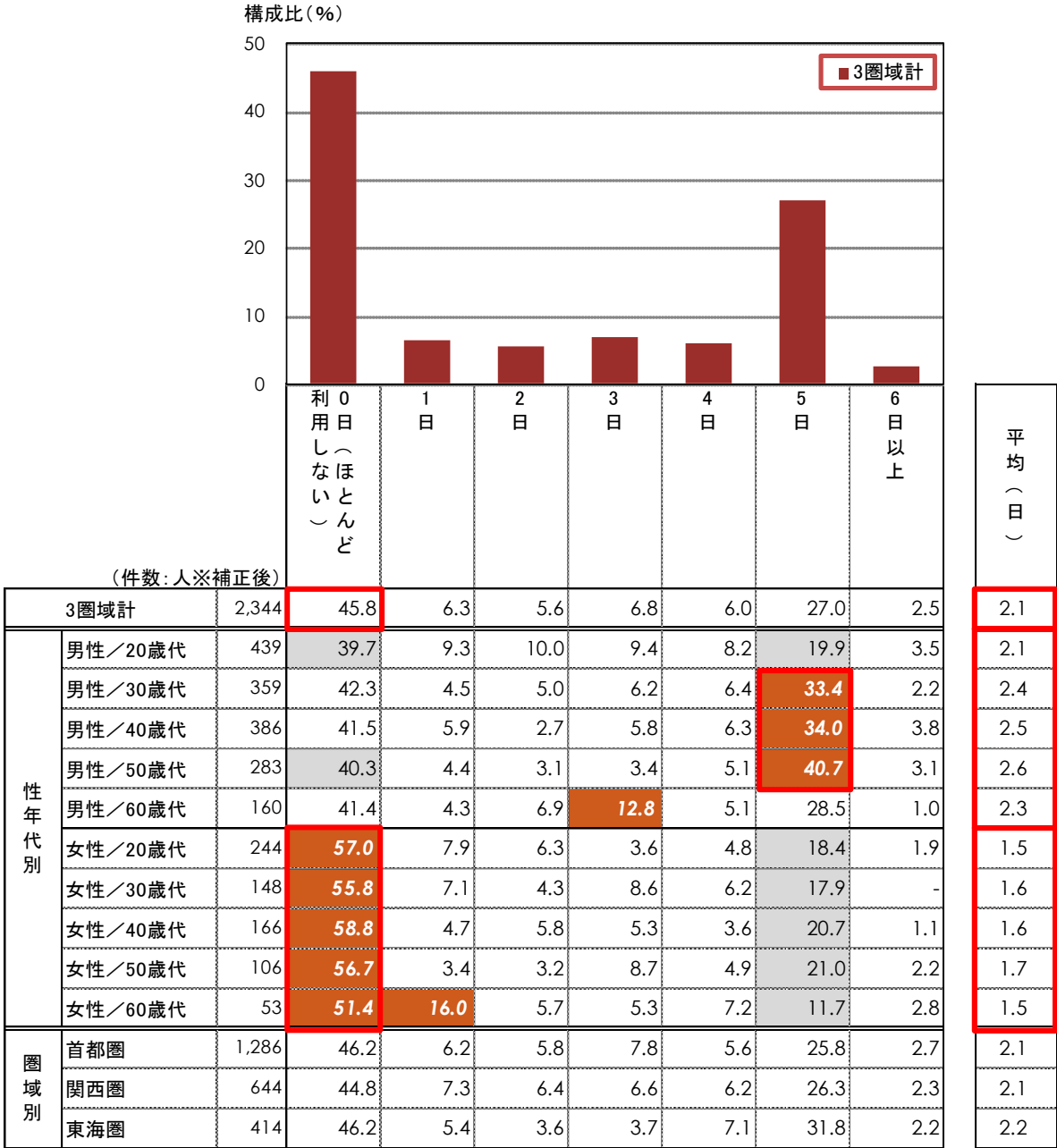


※社食がある：「社食を週6日程度以上利用している」「社食を週5日程度利用している」「社食を週4日程度利用している」「社食を週3日程度利用している」「社食を週2日程度利用している」「社食を週1日程度利用している」「社食はあるが、ほとんど利用していない」のいずれかを回答した人を集計
※勤めていない、その他：「勤めていない／通学していない」「その他」のいずれかを回答した人を集計

2. 昼食での社食の利用は週平均2.1日。「ほとんど使わない」人が半数に近い45.8%

「社食がある」人に、昼食での利用頻度を聞いた。「社食はあるが、ほとんど利用しない」と回答した人が45.8%と半数に近く、これを週の利用日数「0日」とカウントして推計すると、社食環境がある人の週平均の利用日数は2.1日となった。性年代別では女性で「社食はあるが、ほとんど利用しない」がどの世代でも50%を超えて高く、逆に男性では30・40・50代で「週5日」利用する人が30%を超えて多かった。週平均の利用日数の推計でも、男性が全世代2日以上に対し、女性では全世代2日未満となっており、利用頻度の男女差が大きいことが分かった。

■ 昼食における社食の利用日数（職場や学校に社食がある人／単一回答）



太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

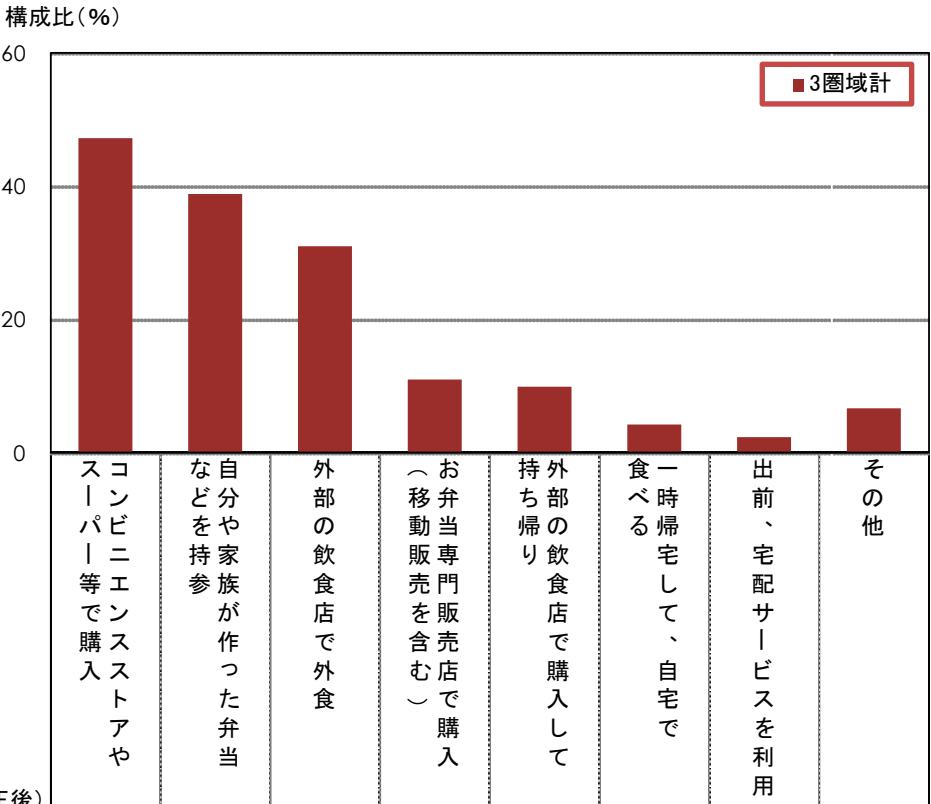
3圏域計より5ポイント以上低い項目

※平均(日)：「社食を週6日程度以上利用している」を6日、「社食を週5日程度利用している」を5日、「社食を週4日程度利用している」を4日、「社食を週3日程度利用している」を3日、「社食を週2日程度利用している」を2日、「社食を週1日程度利用している」を1日、「社食はあるが、ほとんど利用していない」を0日とした場合の平均値

3. 社食を利用しない日の昼食、最多は「コンビニエンスストアやスーパー等で購入」

社食がある人に、社食を利用しない日の昼食方法について聞いたところ、1位は「コンビニエンスストアやスーパー等で購入」が47.1%、2位は「自分や家族が作った弁当などを持参」が38.9%、3位は「外部の飲食店で外食」が31.1%であった。性年代別では、20代男性で「コンビニエンスストアやスーパー等で購入」が59.2%と顕著に多く、女性の全世代で「自分や家族が作った弁当などを持参」が多かった。また「外部の飲食店で外食」は20・30代男性と60代男性で多く、圏域では首都圏で多い傾向にある。

■ 社食を利用しない日の昼食方法（職場や学校に社食がある人／複数回答）



(件数: 人※補正後)

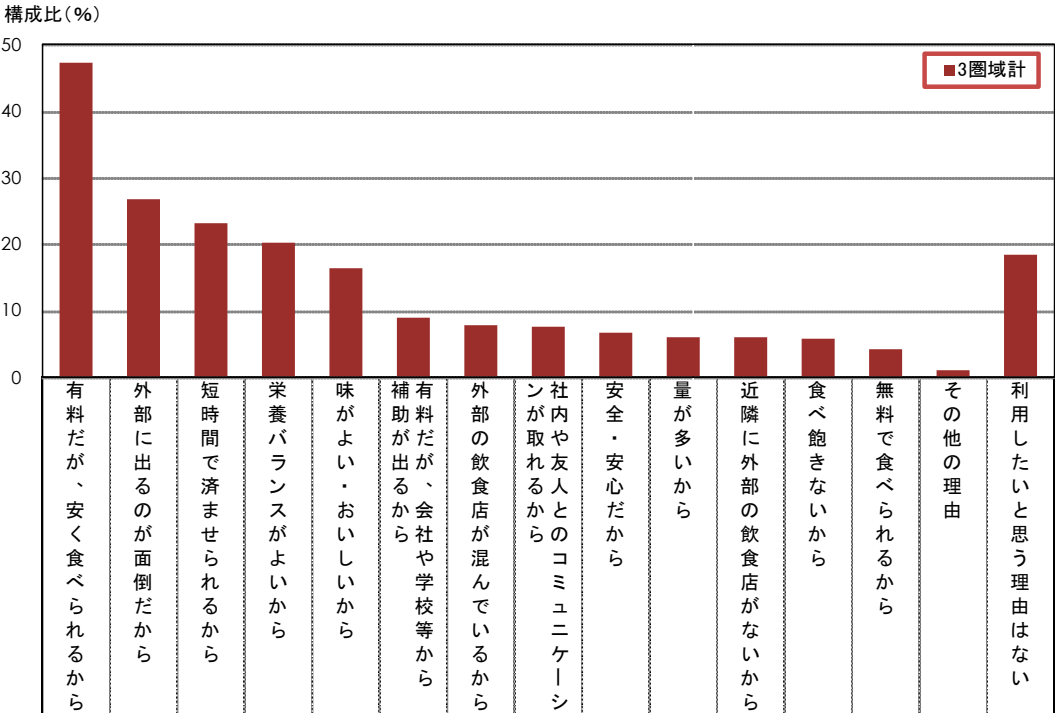
3圏域計		2,344	47.1	38.9	31.1	11.0	9.8	4.1	2.3	6.6
性年代別	男性／20歳代	439	59.2	29.4	37.8	14.8	15.0	6.3	4.0	3.6
	男性／30歳代	359	51.6	36.3	38.0	15.3	15.2	3.2	4.0	5.1
	男性／40歳代	386	46.7	30.4	29.1	9.7	7.9	1.8	1.9	6.2
	男性／50歳代	283	44.7	25.7	35.9	8.4	4.4	1.6	2.8	8.3
	男性／60歳代	160	33.7	27.0	39.9	14.8	9.4	3.4	1.6	11.3
	女性／20歳代	244	48.7	58.2	22.0	8.5	8.5	6.9	1.6	5.9
	女性／30歳代	148	43.5	59.9	18.7	9.2	6.4	4.7	0.4	5.2
	女性／40歳代	166	38.2	60.3	25.2	7.1	9.8	4.9	-	7.3
	女性／50歳代	106	33.2	58.8	14.9	5.3	3.4	4.1	1.2	10.1
	女性／60歳代	53	30.2	48.7	16.7	3.4	2.0	5.7	-	18.6
圏域別	首都圏	1,286	49.2	35.6	36.5	12.0	11.9	3.7	2.6	6.6
	関西圏	644	45.9	42.4	25.5	11.4	8.3	4.6	2.1	7.0
	東海圏	414	42.5	43.7	23.0	7.5	5.7	4.3	2.1	5.9

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目
3圏域計より5ポイント以上低い項目

4. 社食を使いたい理由、トップ3は「安い」「外に出るのが面倒」「短時間で済む」

社食がある人に、社食を利用したいと思う理由を聞いたところ、1位は「有料だが、安く食べられるから」が47.2%と半数に近いスコア。2位は「外部に出るのが面倒だから」が26.7%、3位は「短時間で済ませられるから」が23.1%であった。どちらかという料理の内容よりも価格や時間短縮といった物理的な条件が上位に並んだ。性年代別では、60代男性で「外部に出るのが面倒だから」「短時間で済ませられるから」など、時間短縮的な理由が平均よりも高いのに対し、20代では男女共に「味がよい・おいしいから」と料理の内容を評価した人が全体平均よりも高くなっている。

■ 社食を利用したいと思う理由（職場や学校に社食がある人／複数回答）



(件数:人※補正後)

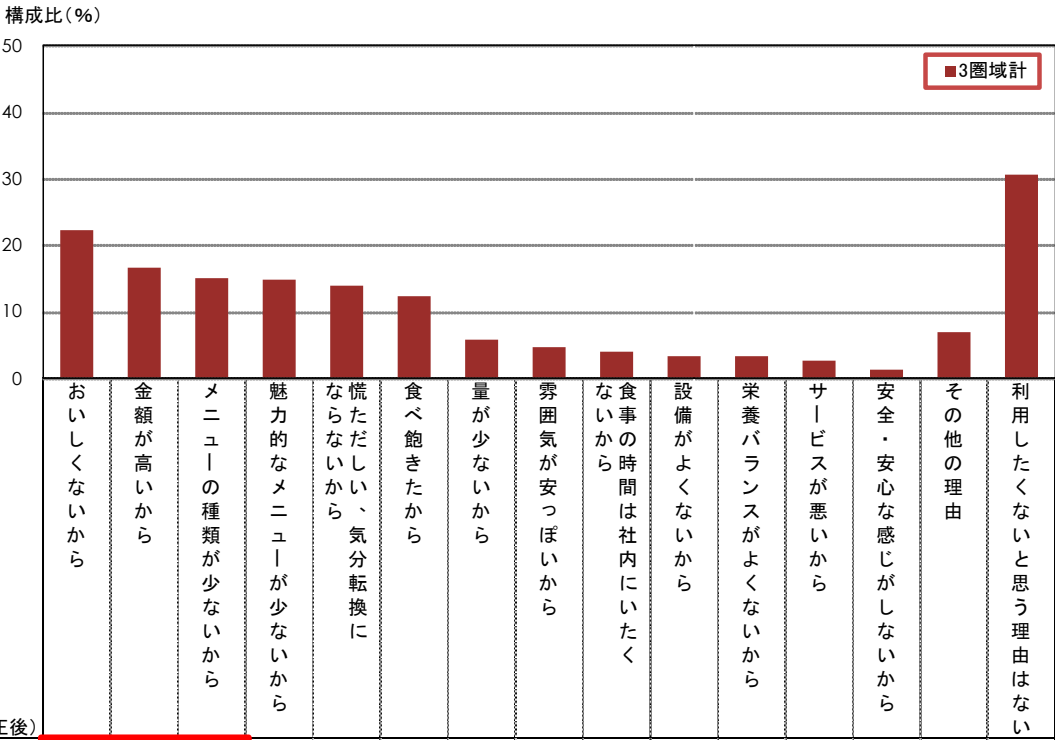
3圏域計		2,344	47.2	26.7	23.1	20.2	16.3	8.9	7.8	7.6	6.7	6.1	6.0	5.7	4.1	1.0	18.3
性年代別	男性／20歳代	439	44.8	21.5	19.6	18.9	24.4	7.5	8.6	5.4	7.1	9.0	3.4	6.2	4.1	0.3	15.9
	男性／30歳代	359	47.2	23.4	21.8	24.4	19.1	11.2	7.4	8.3	8.4	11.6	5.3	9.5	6.1	0.8	15.3
	男性／40歳代	386	49.4	26.6	26.6	18.4	11.8	9.6	7.7	6.4	3.5	3.4	6.7	2.4	4.8	0.6	18.8
	男性／50歳代	283	48.8	29.4	32.2	15.0	10.6	10.1	7.3	8.1	5.9	1.9	7.0	6.0	3.1	0.9	20.8
	男性／60歳代	160	50.9	36.6	33.7	19.7	12.4	12.3	11.3	14.1	11.4	3.4	8.6	4.7	1.8	1.4	19.8
	女性／20歳代	244	49.8	28.9	16.9	22.2	22.6	6.5	5.8	7.8	7.4	8.6	5.9	8.4	3.8	1.0	14.7
	女性／30歳代	148	46.5	35.6	22.9	27.6	11.2	9.2	7.8	8.3	5.8	3.6	6.8	6.1	2.4	0.4	18.5
	女性／40歳代	166	40.6	27.4	17.9	16.0	10.4	6.0	7.5	5.5	5.5	3.9	6.4	4.0	4.8	0.7	26.6
	女性／50歳代	106	43.2	24.4	16.5	21.5	13.9	7.3	8.7	8.0	5.0	3.1	10.3	3.1	2.0	2.6	21.9
	女性／60歳代	53	48.8	17.7	14.7	24.1	13.9	7.3	4.9	8.7	10.8	2.0	1.3	-	5.0	10.1	18.1
圏域別	首都圏	1,286	46.9	29.5	24.2	20.6	17.7	8.2	9.5	7.9	7.1	6.2	6.3	6.8	3.9	1.0	17.8
	関西圏	644	48.4	24.2	22.8	21.7	15.9	8.7	5.8	7.9	6.5	7.1	5.9	3.6	4.3	1.3	17.5
	東海圏	414	46.3	22.2	20.5	16.5	12.6	11.7	5.7	5.9	5.8	4.1	5.0	5.8	4.2	0.7	20.8

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目 3圏域計より5ポイント以上低い項目

5. 社食を使いたくない理由、トップ3は「おいしくない」「高い」「種類が少ない」

社食がある人に、社食を利用したくないと思う理由を聞いたところ、「利用したくないと思う理由はない」を除き、1位は「おいしくないから」が22.1%、2位は「金額が高いから」が16.6%、3位は「メニューの種類が少ないから」が15.0%であった。前ページの社食を使いたい理由と比べると、料理の内容についての選択肢が上位に選ばれている傾向だ。性年代別では、50代の男女で「おいしくないから」が全体平均より多く、20・30代女性では「金額が高いから」が多い。また、40・50代女性では「魅力的なメニューが少ないから」も全体平均に比べて多く選ばれている。

■ 社食を利用したくないと思う理由（職場や学校に社食がある人／複数回答）



		(件数:人※補正後)																い	
3圏域計		2,344	22.1	16.6	15.0	14.7	13.9	12.2	5.8	4.7	3.9	3.3	3.2	2.5	1.3	6.8	30.5		
性年代別	男性／20歳代	439	14.5	16.7	12.0	10.2	11.7	16.6	9.8	5.4	4.1	6.0	3.7	1.6	0.8	4.9	32.3		
	男性／30歳代	359	20.9	18.3	14.0	10.3	10.8	12.0	8.5	7.0	2.6	3.5	2.2	2.7	0.6	3.3	31.5		
	男性／40歳代	386	27.0	14.8	15.1	11.9	15.5	10.1	6.3	5.1	4.3	1.9	1.7	3.7	1.4	8.7	31.1		
	男性／50歳代	283	28.3	13.4	15.2	18.2	11.3	13.1	3.6	3.7	2.8	3.9	4.2	3.3	0.8	6.6	36.3		
	男性／60歳代	160	20.4	7.6	17.9	18.4	13.4	8.8	3.7	3.6	3.4	0.8	1.7	4.5	1.8	5.7	41.0		
	女性／20歳代	244	16.9	22.5	19.3	17.8	16.3	12.5	2.9	2.3	4.1	2.6	3.0	1.2	0.8	8.4	25.6		
	女性／30歳代	148	26.0	21.7	13.2	15.5	21.8	13.0	1.9	4.9	2.5	1.9	5.4	2.6	2.3	6.3	17.8		
	女性／40歳代	166	22.5	21.1	14.8	22.2	17.8	9.5	5.3	4.5	5.0	4.1	2.8	2.8	1.3	14.8	20.3		
	女性／50歳代	106	33.9	16.4	19.6	23.9	9.0	8.7	2.3	3.8	6.5	1.2	5.1	-	3.3	7.8	30.5		
	女性／60歳代	53	18.1	6.5	11.2	11.7	22.5	10.1	-	1.6	6.6	5.2	6.7	-	6.2	4.9	34.9		
圏域別	首都圏	1,286	22.5	16.2	14.7	15.0	14.1	11.9	6.8	5.2	3.4	3.5	2.7	2.4	0.8	6.8	30.7		
	関西圏	644	22.6	15.5	17.6	15.1	13.9	12.7	4.6	4.2	4.3	3.2	3.7	2.7	2.2	6.9	29.3		
	東海圏	414	20.1	19.6	11.7	12.9	13.3	12.6	4.4	4.0	4.4	3.0	3.9	2.6	1.6	6.7	31.9		

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目 3圏域計より5ポイント以上低い項目

6. 社食に期待することは、「旬の食材や季節感のあるメニュー」
「栄養のバランスに配慮したメニュー」「ビュッフェ形式の導入」「サラダバーの導入」など
社食がある人に、社食に期待することを聞いたところ、「特に期待することはない/今以上に支払おうとは思わない」を除き、1位は「旬の食材や季節感のあるメニュー」で26.9%、2位は「栄養のバランスに配慮したメニュー」が20.2%、3位は「ビュッフェ形式の導入」が19.6%、4位は「サラダバーの導入」が17.4%という結果であった。全体的に健康志向や野菜不足の解消を社食に求めているようにも見える。性年代別には、社食の利用率の低かった女性において男性よりも多くの要望があり、女性の利用率を伸ばす余地が大きいと考えられる。逆に50代男性では「特に期待することはない/今以上に支払おうとは思わない」が32.3%と全体平均よりも多く、現状に満足している人、もしくは、そもそも使う気がない人が相対的に多そうだ。

■ 社食に期待すること（職場や学校に社食がある人／複数回答）

